

会長に弦間さん再選 26年度の親睦会活動、スタート

信州大学の市民開放授業受講生親睦会は、3月25日信大松本キャンパス旭会館で定期総会を開き平成26年度の活動をスタートさせた。

総会では①平成25年度事業報告②同収支報告③平成26年度事業計画④同収支計画⑤会則改正をそれぞれ承認＝詳細は総会資料。最後に役員改選をはかり以下の26年度役員体制を決めた。

<平成26年度の親睦会役員>

会長 弦間諒夫、副会長 宮本義仁、会計 味木詩子

運営委員 稲田晃、牛島義夫、小沢熙（伊那キャンパス担当）、住谷壽文（上田キャンパス担当）、横内範夫（長野キャンパス担当）、飯田正孝（「NEWS」担当）＝以上再選。細萱繁＝新任

弦間会長挨拶 昨年は前会長の死去などでスタートが遅れたが、今期は早めに準備し活動を充実させたい。ともに学ぶ仲間の交流を目指し多くの受講生の参加やご提案をお願いしたい。

***親睦会への問い合わせ** 信州大学学務部学務課 市民開放授業窓口へ声をかけてください。

「生きることは学び続けること」 坂本先生ありがとう



信大開放授業の生みの親の一人、坂本保富特任教授は3月25日旭会館で開いた市民開放授業事前説明会（大学主催）で「学ぶことの本質的意味」と題しスピーチ、開放授業への熱い思いを語り受講生を励ました＝写真。

坂本先生は全国の大学の中で先進的な取り組みとして平成13年に始めた開放授業の歩みを振り返り、年齢、性別、地域を問わない「学びの場」の提供は、信大の地域貢献の新たな試みとしてしっかり定着したと評価。地域の支援や協力で生きる信大にとって重要な事業のひとつだと述べた。

また、哲学者、文学者、教育者などの言葉を紹介。「学ぶことは自己解放、自己救済」「生きることは学び続けること」「オンリーワンの自分」と呼びかけた。

事前説明会に続く親睦会総会では、「学び合う友がいるから（受講が）続く」と受講生のさらなる交流を促した。

坂本先生は信大を去り、今後は大塚勉教授が開放授業や親睦会のサポート役の中心となる。坂本先生、長い間お世話になりありがとうございました。

<お知らせ>

受講生間のコミュニケーションの一助に「受講生 NEWS」を随時、発行しています。掲示板にご注目ください。次号以降は、信大校友会への登録呼び掛け、ことしの研修ツアー計画などを紹介する予定です。